

2026 年 9 月 24 日
マツダ株式会社
ENEOS 株式会社

マツダと ENEOS、低炭素燃料の理解促進と普及拡大へ連携

-第 37 回メディア対抗ロードスター耐久レースで ENEOS 製の「ENEOS EARTH ONE」を使用-

マツダ株式会社(代表取締役社長 毛籠 勝弘、以下「マツダ」)とENEOS株式会社(代表取締役社長 山口 敦治、以下「ENEOS」)は、低炭素燃料の理解促進と普及拡大に向けて連携します。マツダが特別協賛する「第37回メディア対抗ロードスター耐久レース」(以下、メディア耐久)で、マツダが提供する「ロードスター」約20台に、ENEOSが供給するエタノール混合ガソリン「ENEOS EARTH ONE(E20)」¹を使用します。

メディア耐久は、メディア関係者が自らレースに参加し、その魅力を体感・発信することで日本の自動車文化の成熟に貢献することを目指す、1989年に始まったワンメイクレースであり、マツダは第1回大会から特別協賛しています。昨年の第36回大会からは、富士スピードウェイ(静岡県駿東郡小山町)で開催される「MAZDA FAN FESTA at FUJI SPEEDWAY」の中で開催されており、第37回大会には、カーボンニュートラル社会の実現に向けた技術開発・実証に取り組む自動車メーカーが参画する「共挑S耐ワイガヤクラブ」²のチームも昨年に続いて参戦します。第37回大会は、2026年10月3日(土)と4日(日)に開催されます。

今回使用する「ENEOS EARTH ONE(E20)」は、カーボンニュートラル社会の実現に向けた選択肢の一つとして期待されている低炭素燃料です。地域ごとのエネルギー事情やお客さまニーズに応じた多様な選択肢が求められる中、マツダとENEOSは、「ENEOS EARTH ONE(E20)」をメディア耐久で使用することで、メディア関係者に低炭素燃料の有用性を体感いただくとともに、その認知と理解の拡大を図り、持続可能な社会の実現に向けた取り組みを進めていきます。



2025年開催のメディア対抗ロードスター耐久レース



低炭素ガソリン(E20)「ENEOS EARTH ONE」ドラム缶

©SUPER FORMULA

■ ENEOS EARTH ONE について

「ENEOS EARTH ONE」は、ENEOS 全社員を対象に公募を実施し 500 件を超える応募の中から選定された低炭素燃料の商品名です。世界に誇る「地球に一番優しいガソリン」を目指す想いと、「明日(EARTH)(未来)で唯一」でありたいという願いが込められています。「ENEOS EARTH ONE」はガソリンに植物由来のバイオエタノール等を混合した二酸化炭素排出量の低減が期待される次世代燃料³です。ENEOS スーパー耐久シリーズ

ST-Q クラスでも本燃料が使用されています。今回、メディア耐久のレース車両に「ENEOS EARTH ONE (E20)」を使用し、低炭素燃料の認知拡大と理解促進を目指します。

以 上

*1 「ENEOS EARTH ONE (E20)」は、エタノールを20%混合したガソリン燃料。

*2 スーパー耐久シリーズのST-Qクラスで、カーボンニュートラル社会の実現に向けた技術開発・実証に取り組む自動車メーカーが、メーカーの垣根を越えて知見や課題を共有する取り組み。トヨタ自動車株式会社、株式会社SUBARU、日産自動車株式会社(NISMO)、株式会社ホンダ・レーシング、マツダ株式会社が参画。<https://supertaikyuu.com/waigaya/about.html>

*3 経済産業省 資源エネルギー庁「自動車分野のGXへ、さまざまな支援策～購入補助から次世代燃料開発支援まで」

https://www.enecho.meti.go.jp/about/special/johoteikyo/automobile_industry_policy_02.html